

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 5月 28日

事業所名 放課後等デイサービス リーる 保護者等数(児童数) 26(30) 回収数 15人 割合 57%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1		1		室内だけでなく、庭も活用しています。また、本社にあるプールやICTの学習室も利用しています。また、屋外でのウォーキング活動も取り入れています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13			2		適切な人員配置を行っています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	3		4		手すりに対応しています。また、角にはクッションカバーを付けています。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15					適切な計画を作成するよう努力しています。支援内容の追加や変更があればご連絡ください。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14			1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	1	1	6		VI-VA学童さんやリズムさんとの交流を深めています。2月にはりずりるカフェ、3月には一般のプール会員様やデイサービスの利用者さんと一緒に、水泳の記録会を開催し、リーるから3名が表彰されました。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15					ご不明な事があれば、いつでもご連絡ください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1				10月に言語聴覚士を講師に「心地よく過ごす」ための子どもとの関わり方について学習会を開催しました。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	1	3	4		2月にりずりるカフェを開催しました。今後も保護者様を招いてのイベントを開催したいと思っています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			3		迅速に誠意を持って対応できるよう心がけます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15					HUG・LINE・電話での情報共有を継続していきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14		1			リーるだよりやHPIにて掲載しています。
	14 個人情報に十分注意しているか	14			1		十分に配慮しています。個人情報については鍵付きの書庫にて保管しています。
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	1		2		先日の津波警報の経験を踏まえ、保護者様に周知できるよう災害マニュアルを見直しております。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12			3		年2回の訓練を行っています。継続して実施し、いざという時にお子さまを守る事ができるようにします。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 28日

事業所名 放課後等デイサービスリーる

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6	1			
	2	職員の配置数は適切である	6	1		基準より多くの職員を配置し、細 やかな支援を心がけている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	6	1		角にはクッションカバーを付けて いる。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	5	2			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	7			昨年度の評価を基に業務を改善 した。次年度も本アンケートを基 に改善していく。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	3	4		相談員や他施設職員を招き、施 設内見学や支援の様子を観察し ていただいている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	7			姉妹事業所や同一法人の他部署 と研修をしている。	
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	7			標準化されたアセスメントツール を活用している。年1回、フェイス シートを保護者に見直しをしても らっている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	6	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	7				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	7			子ども達の見解も取り入れながら 工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	7			目標を決め、レクやイベントを考 え行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	7				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	6	1		下校時間の確認や、最近の様子 を伝え合い、確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	6	1		HUGや業務日誌にも記載し、話し 合いもしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			HUGを活用している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	5	2		児発管が行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	5	2			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		児発管が行っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	2			HUGを導入したことで、やり取りが減った保護者がいる。トラブル等はLINEや電話にて伝えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	1			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1		児童発達事業所と相談員より情報提供をしてもらっている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7			引継ぎの会議をし、新しい環境で安心して過ごせるよう情報提供をしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		研修に参加した職員だけでなく、学んだことを事業所内で伝達講習している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1		学童クラブVI-VAさんとの合同イベントでは、子どもたちも楽しそうに参加している。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	3		「南風原町障害者週間実行委員会」主催のイベントに参加した。	地域自立支援協議会は開催されるようであれば関わってきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1		HUGやLINE、電話で情報共有している。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4		言語聴覚士を講師に「心地よく過ごす」ための子どもとの関わり方について学習会を開催した。	次年度も別のテーマで開催したい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			問い合わせ等があれば丁寧にお伝えしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			保護者様より問い合わせ等があれば、その都度対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1		講演会后、話し合いをする時間を設けた。「りずりるカフェ」イベントでは、多くの保護者が参加し顔を合わせる機会となった。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1			迅速に対応していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		毎月りーるだよりをHUGにて発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7			鍵付きの書庫にて保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1			思いに寄り添っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	3		2月のりずりるカフェにお声掛けさせていただきました。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		マニュアルを策定し、職員で共有している。保護者へ周知できるように説明するようにする。	先日の津波警報の件もあり、再度マニュアルの見直しをする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			避難訓練を定期的実施している。	年2回の訓練を引き続き行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			虐待防止委員会を設置している。また、日常的に子どもとの関わりについてふりかえりを行っている。	研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			やむを得ない場合は、法人で定めた「身体的拘束等適正化のための指針」に則って行うこととしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7				現在アレルギー対応が必要なお子さまの利用はありません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			ヒヤリハットの事例を毎月共有し話し合いを行っている。	